

平成27年度予算(案)について

平成27年度当初予算は、一般会計と4つの特別会計を合わせて157億1,844万1千円としました。前年度と比較すると6億4,646万7千円の増、増減率は、プラス4.3%となりました。

一般会計	77億8,800万円	(前年度比 2.5%増)
特別会計	79億3,044万1千円	(前年度比 6.1%増)
総 額	157億1,844万1千円	(前年度比 4.3%増)

《ポイント》

【未来に繋げるまちづくり！】

町税収入が大きく減少する見込みとなり、町財政は、厳しさの度合いを強めています。町制施行80周年を迎える平成27年度は、子育て・子育て支援の充実や、住環境の保全など、次の10年、20年先を見据え、「未来に繋げるまちづくり！」に取組みます。

- ・固定資産の評価替えや所得状況を反映し、町税は大きく減収すると見込みます。
△1億5,671万3千円(△4.3%)
- ・小児医療費の助成を、中学校3年生の通院補助まで拡充します(所得制限有)。
8,515万2千円
- ・民間事業者等と連携し、ニーズの多い駅周辺に保育施設整備を図ります。 1,650万円
- ・子どもを持ちたい方々を応援するために、不育症治療費を助成します。 50万円
- ・育児教室の専門性を強化し、親子支援教室の他、新たに発達支援教室を開催します。
235万4千円
- ・敬老祝金の支給対象を見直し、在宅介護奨励金を廃止する一方、介護人材の育成などへ予算をシフトします。 40万円
- ・介護保険料の改定幅は、最小限に抑え、県下でも低額な保険料としました。
- ・町の福祉のあり方を示す、地域福祉計画を策定するとともに社会福祉協議会との連携を進めます。 180万円
- ・ふたみ記念館に展示ギャラリーを設置するとともに、観覧料を引き下げ、町民に親しまれる施設を目指します。
観覧料 500円 ⇒ 200円
- ・ホームページをリニューアルし、SNSを活用して発信力を強化します。 432万円
- ・町民の方々が楽しめるよう東京大学果樹園跡地を一般開放し、そのアイデアを将来に活かします。
- ・特定課題担当を設置し、空き家対策を含めた(仮称)まちづくり条例の制定等、町の特定課題解決に向けた取り組みを進めます。